

VOICE

資材部会ビジネスネットワーク

STAGE 26

フィルムグループ (塗装・フィルム分科会)

自動車基準の国際調和と相互承認導入の新時代へ

「国連の車両等の型式認定相互承認協定」への日本の加入について

自動車の流通が国際化している現在、その装置や部品の安全と環境保護に係わる基準について、国際的に調和するとともにその認証を相互承認する活動が国連欧州経済委員会車両構造作業部会 (WP29) で進められ、1958年、「車両等の型式認定相互承認協定 (The UN/ECE 1958 Agreement)」が締結されました。

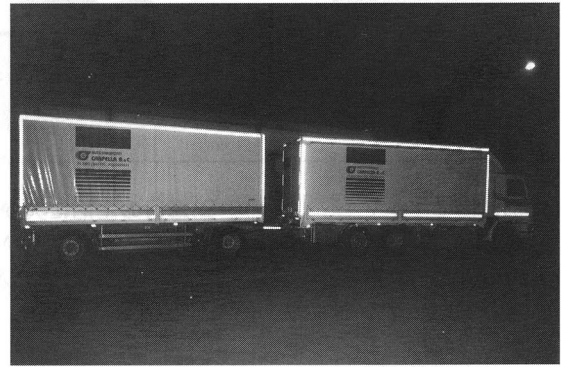
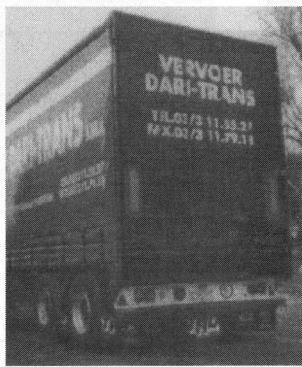
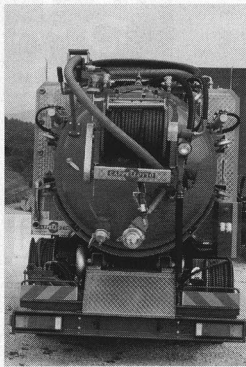
そして、日本も1998年11月24日にこの協定に正式に加入しました。現在は、自動車基準認証国際化研究センター (JASIC) においてその対象項目 (全部で109項目) についてそれぞれの型式基準の改定および検討作業が行われています。

私どもフィルムグループに係わる項目は、UN/ECE規則70 (大型車後部反射器) とUN/ECE規則104 (大型車の反射材) です。UN/ECE規則70は2004年にUN/ECE規則104は本年 (2003年) に採用予定になっています。「大型後部反射器」については現行規格と異なった規格であり、「長尺大型車の反射材」については新しい規格ですので動向を注目し続ける必要があります。私どもは代表をJASICの定例部会および分科会に派遣して情報収集に努めています。そして、今後も皆様に対して必要事項の情報提供をしてゆく所存であります。

なお、JASIC、ECE規則、WP29などに関する情報は次のホームページから取得することができますのでご参考ください。

<http://www.unece.org/trains/main/wp29/wp29wgs/mp29gre/gre2003.html>

<http://www.iasic.org>



フィルムグループ会員会社

会社名	業務内容	TEL
住友スリーエム (株)	外装用・内装用マーキングフィルム、反射シート、大型後部反射器の製造販売	03-5716-7557
(株) 星光商会	マーキング・サイン・ステッカー・ラベルの企画・デザイン・製作・施工	03-3585-2300
ニチバン (株)	外装用マーキングフィルム、大型後部反射器の製造販売	03-5978-5634
日本カーバイト工業 (株)	車両用反射シート	03-5462-8200
(株) ゆう	各種マーキングフィルム・反射シートの販売と車両マーキングの企画・デザイン・印刷・加工・施工	03-3706-6921
リフレクサイト (株)	車両用反射シート	03-3578-8201
リンテック (株)	マーキングフィルム・内装用化粧シート・大型後部反射器	03-5295-7719

資材部会

資材部会ビジネスネットワークホームページの内容を紹介します。
 資材部会員の会社状況、取組み、製品を紹介しています。是非ご利用下さい！

<http://www.jabia.or.jp/parts/index.html>

JABIA 資材部会 内装分科会 1/1 ページ

資材部会 Business Network

■ 内装分科会 ■

- シートグループ
 - 杉本工業株式会社
 - 株式会社サチエス
 - 実業工業株式会社
 - 天動イマテ株式会社
 - 日本カーバイド工業株式会社
 - リソライト株式会社
- シート表皮グループ
 - 青山株式会社
 - 市岡株式会社
 - 株式会社川島織物
 - 株式会社コマコロールジョン
 - シンユーマテリアル株式会社
 - セーレン株式会社
 - 株式会社藤村興業
 - 株式会社ディエスケー
 - 東京シンコー株式会社
 - 株式会社東洋オガサワ
 - 東洋ゴム工業株式会社
 - 株式会社サンライズネットワーク
 - 日本セール株式会社
 - 日本ビニル工業株式会社
 - 株式会社イイス
 - フレック株式会社
 - マロニ株式会社
 - 住江織物株式会社
- 内装材グループ
 - アネリス株式会社
 - 共和レザー株式会社
 - 住江織物株式会社
 - 美和レザー株式会社
 - 株式会社タジマ
 - テラックス株式会社
 - 夏川株式会社
 - フクビ化学工業株式会社
 - 明和グロリア株式会社
 - クワダックス株式会社
 - ロンシール工業株式会社

[HOME] [資材部会]

Copyright © Japan Auto Body Industries Association Inc.

内装分科会：シートグループ、シート表皮グループ、内装材グループが一覧できます。

JABIA 資材部会 部品分科会 1/1 ページ

資材部会 Business Network

■ 部品分科会 ■

- 車体用部品グループ
 - アプデル株式会社
 - アルパ軽送機用品株式会社
 - 自動車車体部品株式会社
 - 廣和自動車工業株式会社
 - 大工工業株式会社
 - タケダ建設株式会社
 - 田村機械株式会社
 - 中部ディーラー工業株式会社
 - 日昇産業株式会社
 - 株式会社ニトロン
 - 日本ポーター工業株式会社
 - 平本工業株式会社
 - 広島ディーラー株式会社
 - 株式会社松沢商会
 - 株式会社矢口製作所
- 電装機器グループ
 - 株式会社ナジジ
 - 株式会社小田原機器
 - クラリオン株式会社
 - ゴルドキング株式会社
 - 株式会社小糸製作所
 - 交通産業株式会社
 - 株式会社交通電機
 - 株式会社五光製作所
 - 三精機械株式会社
 - 株式会社シーエスシー
 - 株式会社島田用品製作所
 - スタンレー電機株式会社
 - 大宮プレス工業株式会社
 - 藤平電機株式会社
 - ダイムラー・クライスラー（日本）
 - 株式会社田村電機製作所
 - トーンテック株式会社
 - 東洋電機株式会社
 - 東洋ライオン工業株式会社
 - 株式会社ナブコ
 - 株式会社ネプチューン
 - パワーステアリングロニクス（株）
 - 株式会社有馬製作所
 - レンツ株式会社
- 冷暖房グループ
 - インガーソールランド株式会社
 - 株式会社アソニー
 - 株式会社タクニ

[HOME] [資材部会]

Copyright © Japan Auto Body Industries Association Inc.

部品分科会：車体用部品グループ、電装機器グループ、冷暖房グループが一覧できます。

JABIA 資材部会 材料分科会 1/1 ページ

資材部会 Business Network

■ 材料分科会 ■

- アルミ・鋼板グループ
 - 昭和電工株式会社
 - 三菱アルミニウム株式会社
- ガラスグループ
 - 岩谷硝子株式会社
 - セントラル硝子株式会社
 - 日本硝子株式会社
 - 富士安全硝子株式会社
- ゴムグループ
 - 東洋ゴム工業株式会社
 - 新和ゴム工業株式会社
 - 日本レーカ株式会社
- 樹脂グループ
 - 株式会社イノアックコーポレーション
 - 株式会社キソー
 - チタロン株式会社
 - 株式会社種福
 - 東京合成株式会社
- 塗料グループ
 - 豊田化学株式会社
 - 妙見高薬料株式会社
- 繊維グループ
 - 株式会社ニッポン
 - 大日本製鋼所株式会社
 - 大和産業株式会社
 - 日本特殊製鋼株式会社
 - 日本ペイント株式会社
 - 日本塗料（株）
- フィルムグループ
 - 住友スリーエム株式会社
 - 株式会社星光商会
 - ニチバン株式会社
 - 株式会社知多
 - リソライト株式会社
 - リンテック株式会社

[HOME] [資材部会]

Copyright © Japan Auto Body Industries Association Inc.

材料分科会：アルミ・鋼板グループ、ガラスグループ、ゴムグループ、樹脂グループ、塗料グループ、フィルムグループ、木材グループが一覧できます。

資材部会 Business Network

- 内装分科会 ■
 - シート
 - シート表皮材
 - 内装材
- 材料分科会 ■
 - アルミ・鋼板
 - ガラス
 - ゴム
 - 樹脂
 - 塗料
 - フィルム
 - 木材
- ビジネスネットワーク ■
 - 私たち資材部会は、部会会員を専門分野ごとにグループ分けを行い、3分科会・13グループからなる「ビジネスネットワーク」を構築致しております。この「ビジネスネットワーク」は、会員としてのメリットを最大化し、会員のより強い連携と緊密な協力へのビジネスチャンスをより積極的に展開することを目的としております。
 - 資材部会長 福西紀雄 (天龍工業(株)取締役社長)
- 部品分科会 ■
 - 車体用部品
 - 電装機器
 - 冷暖房

[HOME] [会員名簿]

Copyright © Japan Auto Body Industries Association Inc.

会員名簿

各部会の絵のところをクリックして下さい。それぞれの部会会社の一覧があります。

働く自動車たち

トラック部会

バス部会

小車部会

特装部会

パル部会

資材部会

ホームへ

会員名簿：各部会の絵をクリックすると、それぞれの部会会社が一覧できます。

VOICE

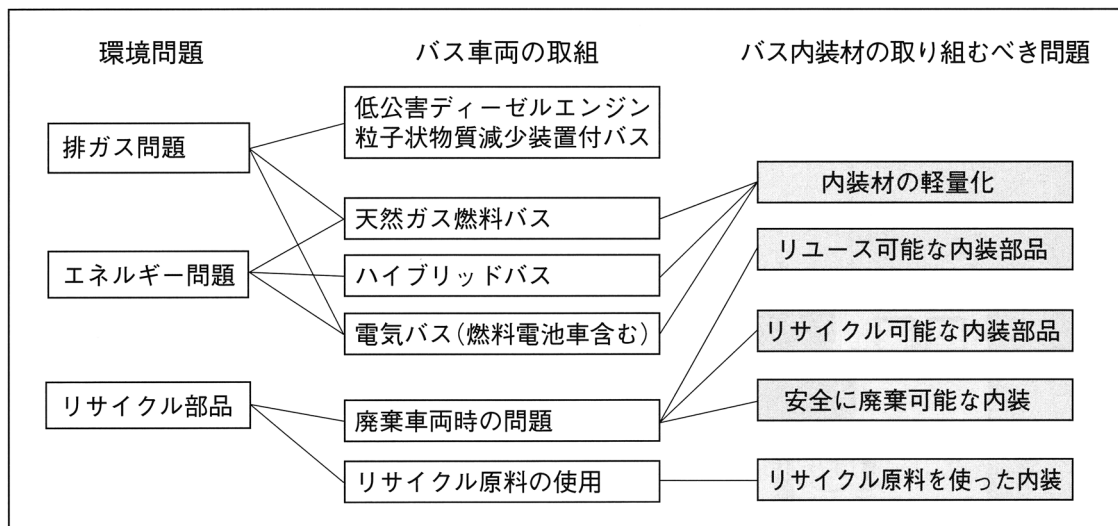
資材部会ビジネスネットワーク

STAGE 27

シート表皮材グループ (内装分科会)

バス内装と環境問題

近年、全世界的規模で地球環境保護の必要性が叫ばれています。首都圏では、ディーゼルエンジンの排ガスが問題となっています。もともと、鉄道やバスなどの公共交通機関は、マイカーなどに比べ、人と環境にやさしい交通手段です。ここで、内装分科会としてバスの内装と環境問題の関わり及びその現状についてまとめてみました。バス車両として環境問題は、排ガス、エネルギー、リサイクル部品などがあります。現状取り組まれている解決方法と内装材が取り組むべき問題の関係を図にしますと。



これらの内装材の取り組むべき問題の現状は、軽量化では重厚長大の時代から軽薄短小の時代に移り変わるにつれ、コスト面からも無駄な原料を使わないことにより徐々に軽量化されてきていますが、電気バスなどの軽量化を必要とする車両には意識して推進する必要があります。リサイクル可能な内装部品は、PP（ポリプロピレン）素札PE（ポリエステル）素材などがありますが、社会のリサイクルシステムが整備されていないため、サーマルリサイクルが主流です。

また、安全に廃棄可能な内装部品の現状としては、塩ビ部品やプラスチック部品・繊維部品等に含まれる臭素系難燃材が、焼却時にダイオキシン（発ガン性物質）を発生させることから徐々に使えなくなって来ています。これらは、焼却しても安全なリン系難燃材に置換えつつあります。

リサイクル原料を使ったものとしては、シート地がペットボトルから作った再生糸を一部に使用し生産されつつあります。

部品メーカー、素材メーカーとしては、これらはコストアップの要因ではありますが、是非とも取り組んでいかなければならない問題だと考えています。

【シート表皮材グループ会員会社】

青 山 (株)	セ ー レ ン (株)	日 本 シ ー ル (株)
ア ム ト ン (株)	(株) 龍 村 美 術 織 物	日 本 ビ ニ ル 工 業 (株)
市 岡 (株)	(株) デ ィ ー ・ エ ヌ ・ ケ ー	(株) バ イ ス
(株) 川 島 織 物	東 京 シ ン コ ー (株)	ブ リ ン プ (株)
シンコールマテリアル(株)	(株) 東 洋 ク オ リ テ ィ ワ ン	マ ロ ン (株)
住 江 織 物 (株)	(株) ナ ン カ イ テ ク ナ ー ト	東 洋 ゴ ム 工 業 (株)

資材部会

資材部会ビジネスネットワークホームページの内容を紹介します。
 資材部会員の会社状況、取組み、製品を紹介しています。是非ご利用下さい！

<http://www.jabia.or.jp/parts/index.html>

JABIA 資材部会 内装分科会 1/1 ページ

内装分科会

- シートグループ**
 - 杉本工業株式会社
 - 株式会社アセス
 - 天龍工業株式会社
 - 天龍ヤマ株式会社
 - 日本カーバイド工業株式会社
 - リフレサイト株式会社
- シート表皮グループ**
 - 青山株式会社
 - 市南株式会社
 - 株式会社川島製物
 - 株式会社コマツコーポレーション
 - シンコムマテリアル株式会社
 - セーレン株式会社
 - 株式会社種村美術製物
 - 株式会社デ・エス・ケー
 - 東洋シヨウ株式会社
 - 株式会社東洋オリティワン
 - 東洋ゴム工業株式会社
 - 株式会社オンカイテクト
 - 日本シール株式会社
 - 日本ビニール工業株式会社
 - 株式会社バリス
 - プリング株式会社
 - マロテ株式会社
 - 住江織物株式会社
- 内装材グループ**
 - アリス株式会社
 - 共和1-サ株式会社
 - 住江織物株式会社
 - タキロン株式会社
 - 株式会社タジマ
 - テラックス株式会社
 - 東リ株式会社
 - フジ化学工業株式会社
 - 前和ガラス株式会社
 - リケンガラス株式会社
 - ロシニール工業株式会社

[HOME] [資材部会]

Copyright (C) Japan Auto-Body Industries Association Inc.

内装分科会：シートグループ、シート表皮グループ、内装材グループが一覧できます。

JABIA 資材部会 部品分科会 1/1 ページ

部品分科会

- 車体用部品グループ**
 - アブデル株式会社
 - アルパ社製造品株式会社
 - 自動車車体骨格株式会社
 - 昭和自動車工業株式会社
 - 大玉工業株式会社
 - タキゲン製造株式会社
 - 田村機械株式会社
 - 中部カーパーツ工業株式会社
 - 日昇産業株式会社
 - 株式会社セントレ
 - 日本カーパーツ工業株式会社
 - 平本工業株式会社
 - 広島カーパーツ株式会社
 - 株式会社江湾倉
 - 株式会社及口製作所
- 電装機器グループ**
 - 株式会社小田江
 - 株式会社小田原機器
 - クラフオン株式会社
 - ゴールドキング株式会社
 - 株式会社小糸製作所
 - 交通産業株式会社
 - 株式会社交通産業社
 - 株式会社玉五製作所
 - 三輪機械株式会社
 - 株式会社シーエスシー
 - 株式会社粉末用品製作所
 - スタラー電機株式会社
 - ふたば工業株式会社
 - 森平電機株式会社
 - ダイラークワイアライバー日本(株)
 - 株式会社田崎製作所
 - トーシンテック株式会社
 - 東洋電機株式会社
 - 東洋ライオン工業株式会社
 - 株式会社ナブコ
 - 株式会社ネプチューン
 - パナソニックカーエレクトロニクス(株)
 - 株式会社伊原製作所
 - レック株式会社
- 冷暖房グループ**
 - インゴーランド株式会社
 - 株式会社デンソー
 - 株式会社ミウニ

[HOME] [資材部会]

Copyright (C) Japan Auto-Body Industries Association Inc.

部品分科会：車体用部品グループ、電装機器グループ、冷暖房グループが一覧できます。

JABIA 資材部会 材料分科会 1/1 ページ

材料分科会

- アルミ・鋼板グループ**
 - 昭和重工業株式会社
 - 三菱アルミニウム株式会社
- ガラスグループ**
 - 旭硝子株式会社
 - セトラル硝子株式会社
 - 日本硝子硝子株式会社
 - 富士安全硝子株式会社
- ゴムグループ**
 - 東洋ゴム工業株式会社
 - 昭和ゴム工業株式会社
 - 日本シーラ株式会社
- 樹脂グループ**
 - 関西ペイント株式会社
 - 大日本塗料株式会社
 - 大和塗料工業株式会社
 - 日本特殊塗料株式会社
 - 東洋化成株式会社
 - 日本ペイント株式会社
 - 日本油断B&Fコーティングス(株)
- 塗料グループ**
 - 住友スリーエム株式会社
 - 株式会社星光商会
 - ニトリン株式会社
 - 株式会社中ノ
 - リフレサイト株式会社
 - リフレック株式会社
- フィルムグループ**
 - 住友スリーエム株式会社
 - 株式会社星光商会
 - ニトリン株式会社
 - 株式会社中ノ
 - リフレサイト株式会社
 - リフレック株式会社

[HOME] [資材部会]

Copyright (C) Japan Auto-Body Industries Association Inc.

材料分科会：アルミ・鋼板グループ、ガラスグループ、ゴムグループ、樹脂グループ、塗料グループ、フィルムグループ、木材グループが一覧できます。

資材部会 Business Network

内装分科会

- シート
- シート表皮材
- 内装材

ビジネスネットワーク

私たち資材部会は、部会会員を専門分野ごとにグループ分けを行い、3分科会・13グループからなる「ビジネスネットワーク」を構築致しております。この「ビジネスネットワーク」は、会員としてのメリットを醸成し、会員のより強い連携と架条メカへのビジネスチャンスにより積極的に展開することを目的としております。

資材部会長 福西紀雄
 (天龍工業(株)取締役社長)

[HOME]
 [会員名簿]

Copyright (C) Japan Auto-Body Industries Association Inc.

会員名簿

各部会の絵のところをクリックして下さい。それぞれ部会会社の一覧があります。

働く自動車たち

トラック部会
 トレーラー部会
 小販部会
 会員部会と製品
 特殊部会
 J/C部会
 J/C部会
 資材部会
 特設部会

ホームへ

会員名簿：各部会の絵をクリックすると、それぞれの部会会社が一覧できます。

VOICE

資材部会ビジネスネットワーク

STAGE 28

冷暖房機器グループ(電装機器・装置分科会)

冷暖房機器グループの環境対応

アイドリングストップへの提案

○ アイドリングストップによる経済効果

毎日30分間ずつ1年間アイドリングストップした場合の経済効果

※乗用車なら 約150リットル=約14,000円

※大型トラックなら 約300リットル=約22,500円

○ こんな時はアイドリングを止めましょう

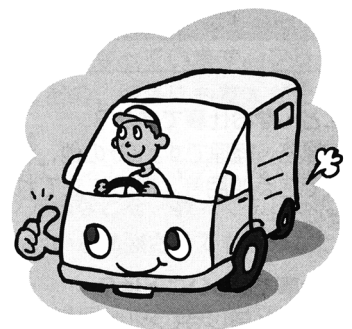
- 1) コンビニエンスストアやちょっとした買い物、待ち合わせ等の駐停車
- 2) 荷物の積み下ろし、納品待ち、仮眠、休憩時の駐停車
- 3) 路線バスの起点、終点での駐停車
- 4) タクシーの客待ち、休憩、仮眠時の駐停車

○ エンジン停止状態で使用できる冷暖房機器の紹介

大型トラック用

- 1) 冷房 蓄冷式クーラー
走行中に氷を作っておき、その冷気で室内を快適温度に保つ優れたもの
- 2) 暖房 独立燃焼式ヒータ
車載している燃料を燃焼させて温風を作り出すFF式ヒータとエンジンの冷却水を温めて暖房とするプレヒータ
- 3) 暖房 蓄熱マット
走行中にバッテリー電源によってマットを暖めておき仮眠時に使用する
- 4) 暖房 余熱利用式
エンジンの余熱を利用して短時間(30分程度)の客待ち、納品待ち時間等に利用するエコノミータイプ

COST 削減!



顧客のニーズ、用途によって選べる冷暖房装置を推奨いたします。

【冷暖房機器グループ会員会社(主製品)一覧表】

会社名	主製品目名	問合せTEL
インガーソールランド(株) サーモキング事業部	輸送用冷凍機、バスエアコン、海上コンテナ用冷凍機器	03-5420-3391
(株) デンソー	トラック・バスヒータ及びエアコン、冷凍機	0566-61-3289
(株) ミクニ	車載用暖房機器	03-3833-9545

資材部会

資材部会ビジネスネットワークホームページの内容を紹介します。
 資材部会員の会社状況、取組み、製品を紹介しています。是非ご利用下さい！
<http://www.jabia.or.jp/parts/index.html>

[電装機器グループ]

JABIA 資材部会 部品分科会 1/1 ページ

資材部会 Business Network
 JAPAN AUTO BODY INDUSTRIES ASSOCIATION

■ 電装機器グループ

- アブデル株式会社
- アルナ輸送機用品株式会社
- 自動車部品製作株式会社
- 和歌山自動車工業株式会社
- 大正工業株式会社
- タカノ工業株式会社
- 日行機研株式会社
- 中部データーワーク工業株式会社
- 日野産業株式会社
- 株式会社セントレ
- 日本データーワーク工業株式会社
- 平本工業株式会社
- 広島データーワーク株式会社
- 株式会社技研製作所
- 株式会社技研製作所

■ 電装機器グループ

- 株式会社オーシ
- 株式会社小田原機研
- ツツミ工業株式会社
- ゴールドリンク工業株式会社
- 株式会社小島製作所
- 久遠産業株式会社
- 株式会社文隆産業
- 株式会社五光製作所
- 三和機研株式会社
- 株式会社シーエスシー
- 株式会社日本部品製作所
- スターレー電気株式会社
- 大東プレス工業株式会社
- 豊平電機株式会社
- システムワークス(株) (日本株)
- 株式会社田村電機製作所
- トーンアップ株式会社
- 東京電機株式会社
- 東洋ライオン工業株式会社
- 株式会社ナブコ
- 株式会社ナブコ
- パナソニック・コンピュータ・システム(株)
- 株式会社技研製作所
- レック株式会社

■ 沖繩県グループ

- インダストリアルランド株式会社
- 株式会社デンソー
- 株式会社カコ

Copyright © Jaban Auto Body Industries Association Inc.

各社紹介ページ (部会作成)

株式会社 クラリオン株式会社 Clarion

会社概要

法人名	クラリオン株式会社
代表者	取締役社長 藤原 博樹
設立年月日	1973年08月08日(東京都港区赤坂1-15-12 3F) 1978年02月22日(東京都港区赤坂1-15-12 5F) TEL: 03(4543-1111) (内線) FAX: 03(4543-2812) E-Mail: info@clarion.co.jp URL: http://www.clarion.co.jp
本社所在地	東京都港区赤坂1-15-12 5F TEL: 03(4543-1111)
支店所在地	1988年07月 広島営業所(広島県広島市東区下野田3-5) TEL: 082(266-1131) 1993年07月 福岡営業所(福岡県福岡市東区下野田3-5) TEL: 092(266-1131) 1999年07月 仙台営業所(宮城県仙台市青葉区南2-1-2) TEL: 022(233-0001) 1999年07月 札幌営業所(北海道札幌市東区南一条1-1-1) TEL: 011(247-7011)
工場・営業所	1989年07月 大阪工場(大阪府大阪市東淀川区2-1-7) TEL: 06(6721-1604) 1991年07月 千葉工場(千葉県千葉市中央区新栄2-1-2) TEL: 043(231-0884)
創業年月日	1949年(現社名)1973年(現社名)
資本金	200億3000万円
主要製品	カーオーディオ、カーナビゲーション、車載機、インナーミラー

自社作成ページへ

Welcome to Clarion

お問い合わせ | 製品情報 | 製品価格 | 技術情報 | 広報情報 | ニュースリリース | トピックス | 採用情報 | Clarion Group

お問い合わせ | 製品情報 | 製品価格 | 技術情報 | 広報情報 | ニュースリリース | トピックス | 採用情報 | Clarion Group

1993年7月12日

【Auto PC CANVAS】、車載情報端末として初めて「LinuxのGamePlayプラットフォーム」に登場
2003.7.2

MITSUBISHI | HONDA | SUBARU | 各々のクラリオンMID/MEDIA、2つお楽しみ

各社紹介ページ (部会作成)

株式会社 アルナ輸送機用品株式会社 ALNA

会社概要

法人名	アルナ輸送機用品株式会社
代表者	取締役社長 入来 一彦
設立年月日	1949年(現社名) 1955年(現社名) TEL: 0564(42-2307) (内線) FAX: 0564(42-2304) E-Mail: info@alna.co.jp URL: http://www.alna.co.jp
本社所在地	愛知県豊田1-1-1 TEL: 0564(42-2311)
支店・営業所	1998年07月 東京営業所(東京都中央区新富1-1-1) TEL: 03(5646-7561) 1999年07月 大阪営業所(大阪府大阪市東淀川区南2-1-2) TEL: 06(6421-2302)
創業年月日	1949年(現社名)1955年(現社名)
資本金	1億円
主要製品	輸送機用部品(ドア、バス保護装置、バス用椅子、バス用シート)
その他の情報	ISO 9001 認証取得

ダイレクトで自社作成ページへ

www.dream.co.jp

Dream
 Making Your Dream

「夢をかなたろ」ときめぬに
 (株)ドリームは自動車関連技術を主に、
 幅広い分野で活躍出来る製品を生み出します。

Topics
 Profile
 Network
 Products
 Recruiting

このホームページはwww.dream.co.jpから生成されています。
 Copyright © 2002 Dream Co., Ltd. All rights reserved.

各社紹介ホームページを資材部会で作成しています。
 詳しくは車工会事務局までご連絡ください